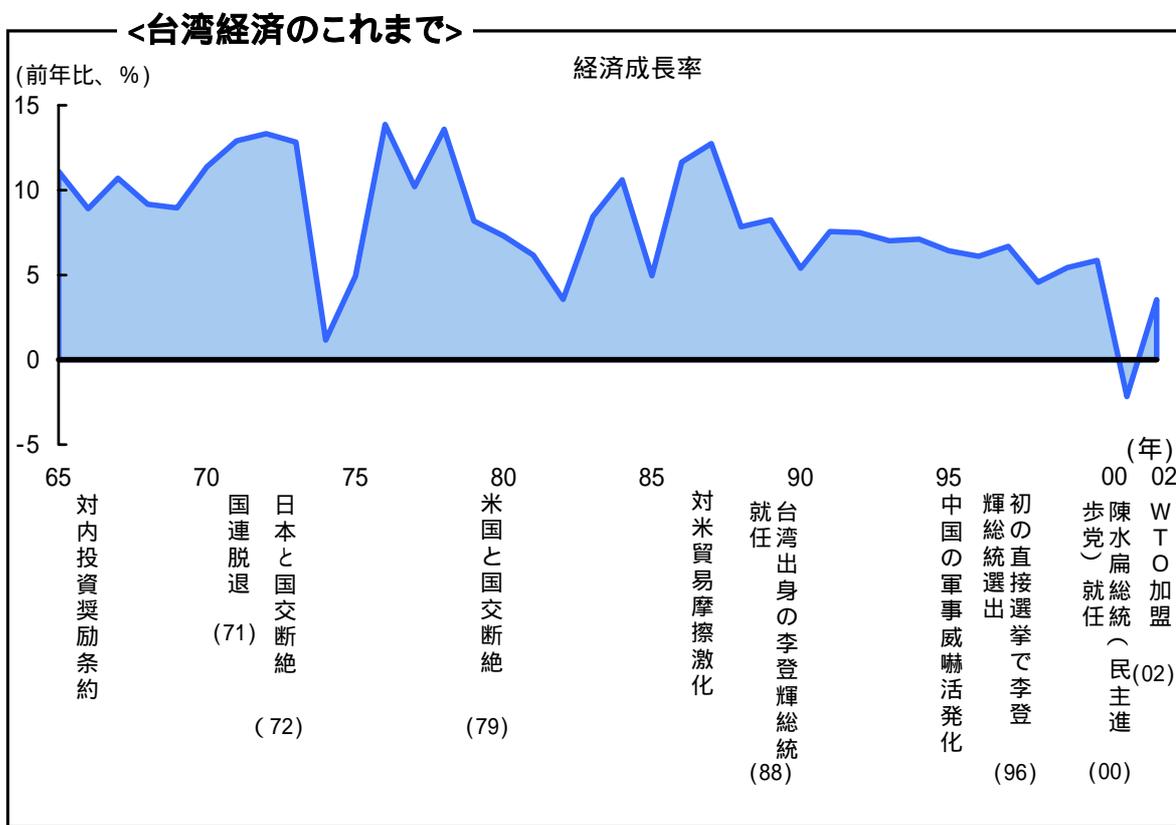


<2002年>

人口	2,252万人 (日本の約1/6)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	12,520ドル	為替制度	変動相場制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 1.9% 2次産業 31.0% 3次産業 67.1%	通貨	台湾元 1米ドル = 34.575台湾元
		面積	3.6万km ² (九州とほぼ同じ)



<2003年の経済>

2003年の経済成長率は、3%前後となる見通しである(台湾当局見通し3.1%、民間機関25社の平均2.6%(2003年10月現在))。民間見通しは春時点(3.4%)より下方修正されている。SARSの流行により民間消費や輸出等が打撃を受け、4～6月期の実質GDP成長率は前年同期比マイナス0.1%成長となるなど、一時的に経済は減速した。しかし、7月上旬のSARSの終息宣言とともに持ち直している。

年後半の見通しとしては、輸出受注の増加や景気先行指数の上昇から、景気は緩やかに回復する見込みである。中国(香港含む)向け輸出や投資が拡大を続け、景気を牽引するとみられる。

台湾の主要経済指標

		92～01年	2002年	2003年	2004年	実質GDP見通し		
				行政院	行政院	ADB	IMF	民間機関
実質GDP	前年比%	5.4	3.6	3.1	3.8	2003年		
民間消費	同上	6.3	2.0	0.9	2.7	3.1	2.7	
民間投資	同上	8.7	1.6	1.6	6.3			平均 2.6
鉱工業生産	同上	3.9	6.4	-	-			最大 3.2
消費者物価	同上	2.2	0.2	-	-			最小 2.0
失業率	%	2.5	5.2	-	-			
経常収支	億米ドル	84.2	256.8	-	-	2004年		
(GDP比)	%	(3.2)	(9.1)	-	-	4.4	3.8	
財政収支	億米ドル	83.6	74.2	-	-			平均 3.8
(GDP比、年度)	%	(3.3)	(2.6)	-	-			最大 5.4
政府債務残高	億米ドル	468	838	-	-			最小 3.4
(GDP比、年度末)	%	(17.2)	(29.7)	-	-			(25社)

(備考) 1. 行政院主計処、經濟部統計処統計。ADBは"Economic Development Outlook 2003 UPDATE" (2003年9月)、

IMFは"World Economic Outlook" (2003年9月)による。

2. 政府債務残高は中央政府の債務。

3. 2002年の財政収支は予算ベース。

4. 行政院見通しは2003年8月時点。

<2004年の経済見通し>

2004年は緩やかな景気拡大が続き、4%程度の成長になると見込まれる(台湾当局見通し3.8%、民間機関25社の平均3.8%(2003年10月時点))。

成長を支える要因としては、引き続き中国向けを中心に直接投資が行われ、それに伴う輸出の伸びが成長を牽引する見込みである。しかし、製造業を中心に生産拠点を海外へ移転しているため、雇用・所得環境の大幅な改善は期待できず、また、国内の設備投資も伸びは緩やかなものにとどまり、景気拡大は緩やかになると予想される。

下方リスクとしては、デフレの長期化により企業収益が圧迫され、所得が伸び悩み、内需が盛り上がらない懸念がある。また、ITバブルの崩壊以降、金融機関の不良債権が顕在化し貸し渋りが起こるなど、金融仲介機能が低下しており、資金供給が滞る可能性がある。

<財政金融政策の動向>

財政面では赤字が続いており、中央政府債務残高は2002年にはGDP比29.8%となった。7月に台湾行政院が編成した2004年度中央政府総予算案によると、歳入は1兆3,539億元で前年比2.4%増、歳出は1兆6,112億元で前年比3.9%増としている。支出のうち経済発展支出が9.6%増となり、総支出の15.4%を占めることとなった。財政赤字はおよそ2,700億元(GDP比約2.8%)に拡大すると予想しており、国債発行や台湾電力等の株式売却収入等で賄うとしている。

台湾政府は財政制度を健全化し、今後5～10年以内に財政収支を均衡させる一方で、将来性のある分野に効率よく投資するとしている。台湾政府は今後5年間、年間およそ1,000億元規模の特別予算をとり、台湾高速鉄道等の公共建設に資金を投入することを目指している。また、SARSが流行した5月上旬、台湾政府は500億元(GDP比約0.5%)のSARS防止特別予算を承認した。

金融政策については、中央銀行は過去2年連続で公定歩合を引き下げ、金融緩和を行っている。2003年6月、公定歩合は0.25%ポイント引下げが行われ1.375%となり、過去最低が続いている。